

事業報告書

事業の名称

信州をフィールドとした学生と地域・企業による対話と共創の場
「信州若者会議 2023」

事業の目的

VUCA 時代を生きぬく人材育成を目指し、より豊富に多様性の増した高等教育コンソーシアム信州（以下、コンソーシアム）の加盟大学を中心に、信州での活躍と定着に向けた対話と共創の場を構想する。長野県各地をフィールドに、コンソーシアム加盟の 11 大学による学びや人材育成の機会と特色ある地域・企業の取り組みを繋ぎ、対話や活動を通じて、課題解決や新たな価値創造の機会を創出し、信州で「働き、暮らす」魅力を共有する。

2023年度は、信州若者会議で「きっかけ」をつくり、地域企業との課題解決型インターンシップ（信州産学官連携インターンシップなどとの接続）や実践型CPBL（Community Project Based Learning）へ展開を模索する。地域ごとの実践テーマとして「情報・起業」「交通・観光」「食」「福祉/防災・減災」を設定し課題や機会を提供する地域・企業の参画を募り、地域のことを知り課題と要因を深めながら、資源に繋げて解決策や活性化策を考える。学生から社会人まで一緒になって共創し実践する機会（講座やPBL, インターンシップ）を構想する。また、これまで構築されたプロジェクトのサポートも行う。

事業の実績

4つのテーマ・地域で対面を主とし、状況や参加者の増加を期待しオンライン（ZOOM）を併用しながら実施した。

	松本若者会議 「トトノッテミソ」	小布施若者会議 「じぶん・しごと LAB」	辰野若者会議 「トビチ商店街2.0～商店街の 新たな姿を体現する企画を立案せよ」	信州防災学 災害レジリエンス養成講座2023
担当	(一社) KOKO	(一社) 小布施まち イノベーションHUB	(一社) Oと編集室	日本笑顔プロジェクト
期間	10月～3月8日	1月12日、2月7日	3月19-21日	3月18日、30日
場所	松本市	長野市・小布施町	辰野町	小布施町
内容	2022年度実施した「企業と繋がるスキルアッププロジェクト」をベースに地元企業の魅力発信・発掘および地元学生の企業への理解を深める・個人のスキルアップを目的としたインターンシッププログラムを実施した。また、新規のプロジェクトの創出支援をするため、若者チャレンジサポートプログラムを実施した。 10月9日 若者会議キックオフ 10月18日 若者ミーティング 11月4日 中間発表@銀嶺祭 12月11日 報告会 3月8日 報告会	この企画では、学生が自身の想いに向き合い、じぶんの想いからしごとを自身の力で作っていく力を養うことを目的に開催した。具体的には、学生にとっては自分に合った就職先や就職の仕方を見つけるきっかけを作り出す。企業にとっては、学生との対話を通じて、企業の文化や価値観が共有され、企業の認知度が向上する。最終的には、じぶんの想いを起点にしごとをする学生や、充実感を持って働く企業の若手が増え、地域に人材が定着していくことを目指した。	「地域でやりたいことを形にした」「この地域で一步踏み出した」学生が、実際に実践しているローカル人材からインプットを受け、企画の立て方、書き方、実践の仕方を学び、自分のアクションプランを書いてみます。自分の考えを言語化する機会として本企画を活用してください。 現地でのフィールドワークを通してトビチ商店街の「今」を捉え、合宿を通してリブランディングの全体の方向性を示した企画書を作成する。	信州防災学・災害レジリエント養成講座では、これまでに実際の災害現場に入って復旧ボランティアの活動してきた方を講師に迎え、現場で求められる知識や行動力、マインドを座学として学びます。次に、現場で必要となるチェーンソーの扱いや、がけ崩れによって閉ざされた土砂をどかさ重機の技術など、いざという時に使える（かもしれない）実践スキルを、体験をしながら学びます。知識だけでは把握できない、現場が必要となる視点やマインドを体感する機会として本講座を開催します。
	情報・起業・観光	キャリア	観光・インフラ	環境・防災
企業	井上百貨店、松本市役所ほか	小布施牧場、システムアプリケーションほか	辰野町、やまとわ ほか	日本笑顔プロジェクト

○ 松本若者会議 2023 トトノッテミソプロジェクト

第1回 10月9日(月) 10:00-16:00 @ゲストハウスしましま 12名が参加(オンライン含)

・「トトノッテミソ？」インターンシップキックオフイベント

レトルト食品「トトノッテミソ？」のパッケージデザインおよびコピーライトを担当した方をお招きし、商品に込められた想いや創り手として届けたいものについて語っていただいた。また、販売元である株式会社井上の副社長である井上博文様、トトノッテミソ？の構想をつくったマツモトトノッターメンバーのお話もきいた。お昼には実際に今回販売する「トトノッテミソ」を全員で試食。午後はレゴシリアスプレイ®メソッドを活用したチームビルディングの時間とした。

第2回 10月22日(日) 11:00-15:00 @井上百貨店ほか 8名の学生が参加

・フィールドワーク

関係者、小売現場の見学をした。複数の小売の現場に赴き、実際に商品に携わっている方からリアルの話を聞くと共に、商品が販売されている様子、こういった方が購入しているか(ターゲット調査、ニーズ把握)を経験した。

第3回 11月4日(土) @信州大学松本キャンパス 銀嶺祭 12名の学生が参加

・中間発表会

学園祭の空き教室を利用し、中間報告会を実施した。上記2日程のインプットを元に各

チームが考える施策を発表する場を設けた。関係者の方々をお呼びし、フィードバックをいただく機会とした。

第4回 10月18日(月) 18:00~20:30 @松本市ユースサポートセンター 8名参加
・若者チャレンジミートアップ

10月18日開催。地域で活動したい若者に対し、プレゼンおよび他団体や社会人、企業との交流イベント。現在活動している団体は人手や資金に困っていたり、団体には所属していないものの、こういった取り組みに興味のある学生もいるため、そのマッチングの場として提供した。

第5回 12月11日(月) 18:00~20:00 @松本市ユースサポートセンター 7名参加
中間発表の施策をブラッシュアップし、最終報告・発表をした。
企業へのプレゼンテーションをして、次年度の企業活動、インターンシップのテーマにってもらえるよう提案した。

その他、3月8日に松本市役所と共催で若者チャレンジカンファレンスを開催し、松本若者会議の取り組みも発表。他の団体、参画した企業や社会人も参加し、交流・意見交換しながら、若者による活動の普及・展開の機会とした(32名参加)。

延べ参加人数 79名

○小布施若者会議 2023 ~じぶん・しごとラボ

この企画では、学生が自身の想いに向き合い、じぶんの想いからしごとを自身の力で作っていく力を養うことを目的に開催した。具体的には、学生にとっては自分に合った就職先や就職の仕方を見つけるきっかけを作り出す。企業にとっては、学生との対話を通じて、企業の文化や価値観が共有され、企業の認知度が向上する。最終的には、じぶんの想いを起点にしごとをする学生や、充実感を持って働く企業の若手が増え、地域に人材が定着していくことを目指した。

第1回 1月12日(金) 13:00~15:00 @長野市 Feat_Space 16名参加

会場: Feat_Space

学生の想いを引き出し、2回目の集客に繋げる。

学生は名刺カードづくりWSを通じて自分を表現し、自分の想いに気づく

- ① 顔合わせと地域・企業を知る、課題の提示:
- ② 要因分析と課題の構造化・絞込み(企画会議)
- ③ 体験を通して実感(ワークショップ)

緊張をほぐすためにみんなでどれだけ多くの人と自己紹介できるか競争するアイスブレイクを実施。ゲーム式にしたことでより多くの人と自己紹介をすることができ、参加者間の関係性を構築することが出来た。

次に、コラージュワークショップを行い、自分を表す名刺カードを写真やイラストの
コラージュによって作成した。

参加者が自分自身を深く理解し、まだ自分が気づいていない価値観を知ることを目的
としている。コラージュを作るポイントとして、五感ワークで感じた自分の直感を信
じて悩まず作ってみる。コラージュとは：自分自身の内面を表現するために、写真や
イラスト、雑誌、新聞の切り抜きを自由に貼って組み合わせる自己表現方法。

最後に皆で作ったものをみんなでシェアした。それぞれの個性溢れたコラージュが完
成した後、「コラージュの中に文字を入れたくなかった」「和の雰囲気を出したかつ
た」などそれぞれのこだわりや想いをシェアした。コラージュのこだわりを言語化す
ることで自分の心の奥にある願いや想いに気づき、自分ならではの個性や好きを知る
ことが出来た。

第2回 2月7日 14:00~16:00 10名参加

会場：小布施町講堂

第2回（DAY02）では、DAY01で意識を向けた自分自身の好きや想いを「働く」に繋げ
ることを目指した。参加者が実際の働き手の声を聞くことで好きや想いを働くに繋げ
るきっかけをつくり、その結果好きや想いを起点にキャリアプランを考えることを意図
している。

小布施の町並みに秘められた先人の想いを紐解くまち歩きを行った。その後、小布施町
で働く若手社員にどんな想いをもち、想いをどう仕事に活かしているのかを話してもら
った。

④ 解決策（提案）とネクストアクションの議論

⑤ まとめと発表

小布施の若手社員と合流して、対話を行った。どんな働き方やどんな仕事をするのか、
これから考えていく学生は

- ・好きなことを仕事にしているのか？
- ・やりたいことが現時点でわからないといった悩みを抱えているようだった。

次に小布施の若手社員が、自分の想いと体験を初めて会う学生に伝えた。

・好きなことを仕事にして、つらいことがあっても好きだから乗り越えられると仕事へ
の愛情が溢れて周囲へ意図せず伝わる人

- ・生活のため、会社のためにも経営を成り立たせなければと社長と密にコミュニケーションをとっているからこそ経営者と同じ目線で話をする人

まったく異なる切り口、変遷、価値観であっても学生には響いていたようだった。

働く先輩たちの話を聞いてみて、今度は学生たちが自分の想いを探る。話に熱が入り、
まだまだ聞きたい！という声も出ながら終わりを迎えた。最後に全員で輪になって、過
ごしてきた時間を振り返った。学生からは

- ・「好き」を仕事にしているのか悩んでいたが
まさに好きなことを仕事にして輝いている人を見て、勇気がももたらえた

- ・ポストイットでフィードバックをもらって見て、

こういう部分も自分にあるのかと新しい発見があったといった声があり、仕事について
知るだけでなく、モチベーションアップや自己理解につながったようだった。

延べ参加人数 26名

○辰野若者会議 2023～トビチ商店街 2.0～商店街の新たな姿を体現する企画を立案せよ

トビチ商店街の「今」を捉え、新たなフェーズのリブランディングに向けたプロジェクトを学生の手によって構築することを目標に、ローカルに根ざしたプロジェクト・マネジメントが行える人材の発掘を目指した。

内容は、辰野町のトビチ商店街を対象とし、地域活性の提案をした。

「地域でやりたいことを形にしたい」「この地域で一步踏み出したい」学生が、実際に実践しているローカル人材からインプットを受け、企画の立て方、書き方、実践の仕方を学び、自分のアクションプランを書いてみた。自分の考えを言語化する機会として実施し、次年度実際にやろうと思う学生を募り、ステップとした。

第1回 3月19日 13:00～16:00 町歩き@トビチ商店街 5名参加

インプットとフィールドワーク：現状と課題を知る町歩き

現地でのフィールドワークを通してトビチ商店街の「今」を捉える。

第2回 3月20日 10:00～16:00 企画書講座@KOUTEN 7名参加

企画書講座と企画作成

合宿を通してリブランディングの全体の方向性を示した企画書を作成する。

第3回 3月21日 10:00～12:00 @発表会@KOUTEN 7名参加

考えた企画を発表、プレゼンテーションして今後実現化可能かを模索した。

延べ参加人数 19名

○信州防災学・災害レジリエンス養成講座2023

実習の前に、オンラインでの座学を行い、災害現場のリアルな状況を知り、重機やチェーンソーの有用性を実感した。3月30日には実技を行い、技術を習得しながら、防災の備えや復旧の考え方や現場を想像できるようになった。

	概要	詳細	場所
1日目 3/18 (Mon.)	10:00 - 11:30	オンラインで災害復旧と防災の備え nuovoの活動と構想 5名参加	オンライン

	11:30 - 12:00	重機の操作方法の講習（e-ラーニング） の説明と宿題・安全講習テストについて	オンライン
	11:50 - 12:00	チェックアウト、感想共有	オンライン
2日目 3/30 (Sat.)	8:45 - 12:00	重機の操作方法①（実習）	小布施
	13:00 - 16:30	重機の操作方法②（実習）	小布施
	16:30 - 17:00	チェックアウト・感想共有 7名参加	小布施

延べ参加人数 12名